

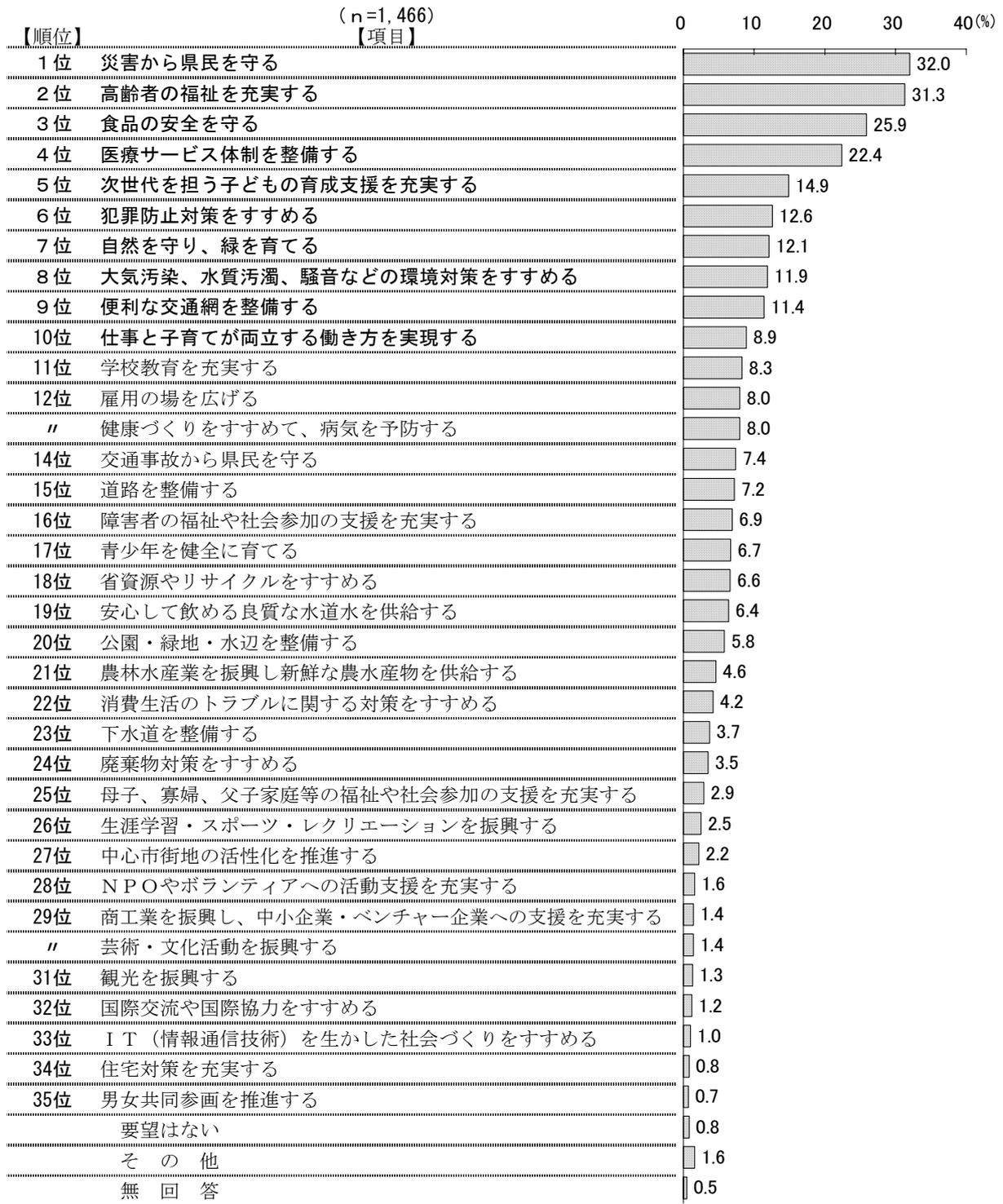
## 8 県政への要望

### (1) 県政への要望

◇第1位「災害から県民を守る」と第2位「高齢者の福祉を充実する」が3割を超える

問38 県政全般について、今後あなたが特に力をいれてほしいと思われることを、次の県政への要望項目の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

<図表8-1> 県政への要望（複数回答）



県政への要望を3つまで選んでもらったところ、「災害から県民を守る」(32.0%)、「高齢者の福祉を充実する」(31.3%)が3割を超え最も高くなっている。次いで、「食品の安全を守る」(25.9%)、「医療サービス体制を整備する」(22.4%)が2割台である。続いて「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」(14.9%)が1割台半ばとなっている。(図表8-1)

#### 【参考】平成15年以降の同様の項目による調査結果との比較(上位10項目の推移)

県政の要望に関しては継続して行ってきた設問であるが、前々回の調査時に項目の見直しが行われ、回答に当たっての前提条件が変更された。そのため、厳密な意味で以前の調査との連続性はないが、参考までにこれまでの調査の推移を掲載する。(図表8-2)

#### 【地域別】

いずれの地域においても、「災害から県民を守る」、「高齢者の福祉を充実する」、「食品の安全を守る」が上位3位となっている。「災害から県民を守る」は“中央地域”(33.6%)と“西地域”(34.4%)で、「高齢者の福祉を充実する」は“東地域”(29.3%)と“南地域”(36.0%)で、それぞれ第1位となっている。“東地域”では「食品の安全を守る」が28.9%で第2位にあげられている。また、全体では上位10位にも入っていない「雇用の場を広げる」が“南地域”(18.9%)では第5位にあげられており、全体で9位の「便利な交通網を整備する」が“東地域”(16.3%)では第5位にあげられている。

(図表8-3~4)

#### 【性別、性・年代別】

性別では、男女ともに上位3位は「災害から県民を守る」、「高齢者の福祉を充実する」、「食品の安全を守る」になっているが、「災害から県民を守る」は男性(33.4%)で第1位、「高齢者の福祉を充実する」は女性(31.0%)で第1位となっている。第3位は男女とも「食品の安全を守る」になっているが、女性(28.7%)が男性(21.4%)より高い比率となっている。第4位は男女とも「医療サービス体制を整備する」になっているが、第5位は、男性は「大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる」(13.9%)、女性は「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」(16.0%)となっている。

性・年代別では、「災害から県民を守る」は男性の20代から50代及び女性の20代と40代で第1位となっている。「高齢者の福祉を充実する」は男女とも60歳以上で第1位となっており、男性(48.7%)、女性(43.7%)とも他の年代に比べかなり高い比率となっている。「食品の安全を守る」は50代以上の高い年代の要望が高く、女性50代(36.8%)で第1位、女性60歳以上(37.0%)で第2位、男性でも50代(24.4%)と60歳以上(27.1%)で第3位にあげられている。「仕事と子育てが両立する働き方を実現する」は、女性30代(33.1%)で第1位にあげられており、他の年代よりかなり高い比率となっている。「大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる」と「自然を守り、緑を育てる」は比較的低い年代の要望が高く、女性20代では第2位と第3位、男性の20代から40代で上位3位に入っている。また、全体では上位10位にも入っていない「雇用の場を広げる」が、男女とも50代では第5位にあげられている。(図表8-3~4)

## 【今回の調査結果の特徴】

これまでの調査結果等を踏まえた今回調査の主な特徴は、以下のとおりである。

1. 「災害から県民を守る」、「高齢者の福祉を充実する」、「医療サービス体制を整備する」に対し、県民の各層からの根強い要望がある。
2. 「食品の安全を守る」は要望順位が上昇し、特に50代以上の年代の要望が高い。
3. 30代は男女とも「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」が2位、特に女性は「仕事と子育てが両立する働き方を実現する」がトップ。

### 「災害から県民を守る」

- ・近年の調査で順位を上げつつあった項目で、今回は14年連続第1位だった「高齢者の福祉を充実する」を抑え、第1位（32.0%）。昨年は第3位（25.9%）であった。
- ・平成7年度に起きた『阪神・淡路大震災』をはじめ、大きな災害の被害が伝えられると順位が上がる傾向にある。
- ・今回の調査では、女性の50代以外の年代では、いずれの層でも上位3位以内。特に男性では20代から50代で第1位となっている。

### 「高齢者の福祉を充実する」

- ・前回まで14年連続第1位であったが、今回は第2位。ただし、「災害から県民を守る」との比率の差はわずか0.7%で、依然として高い比率となっている。
- ・今回の調査では、40歳以上の年代の要望が高く男女とも60歳以上の年代の要望が第1位と高い。また、他の年代と比率の差が大きくなっている。

### 「食品の安全を守る」

- ・前は第7位（11.4%）であったが、今回は第3位（25.9%）となり、前回より大幅に比率が高くなっている。
- ・今回の調査では、男性より女性の要望が高く、また、50代以上の年代の要望が高くなっている。女性の50代で第1位、60歳以上で第2位、男性でも50代と60歳以上で第3位に入っている。一方、男性の20代では、6.3%と第10位以内に入っておらず、他の年代との違いが見られた。

### 「医療サービスを整備する」

- ・毎回高い順位にあるが、今回の調査では「災害から県民を守る」、「食品の安全を守る」の要望順位が上昇したため、第4位だった。

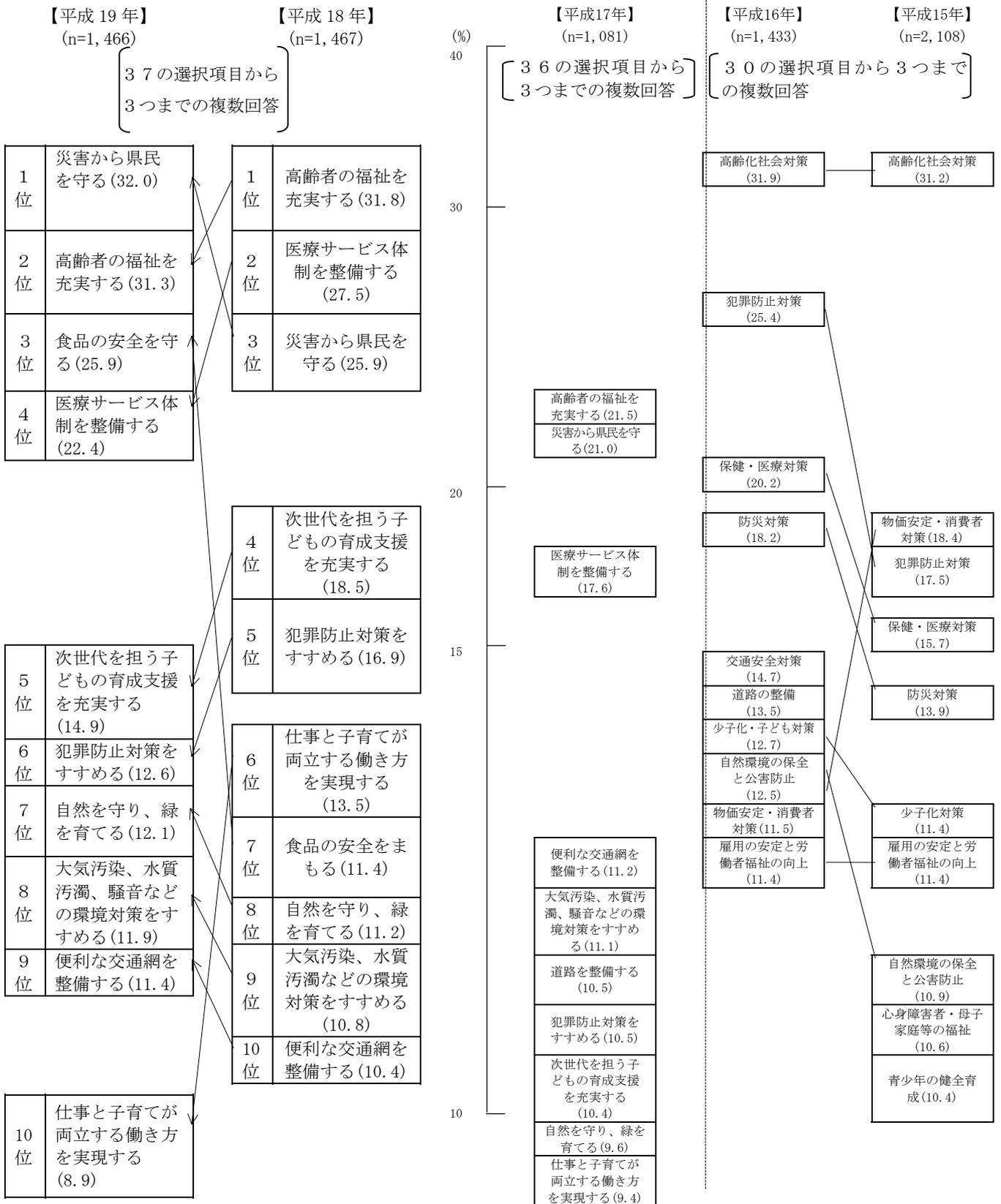
### 「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」

- ・30代の要望が高い項目で前は1位、今回は2位となった。同代の1位は、男性が「災害から県民を守る」、女性が「仕事と子育てが両立する働き方を実現する」となっている。

<図表 8-2> 県政への要望/上位 10 項目の推移

《郵送法》

《面接法》



<図表8-3> 県政への要望（上位1位～5位）／地域別、性別、性・年代別

(%)

属性	順位	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体		1,466	災害から県民を守る (32.0)	高齢者の福祉を充実する (31.3)	食品の安全を守る (25.9)	医療サービス体制を整備する (22.4)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (14.9)
【地域別】							
中央地域		503	災害から県民を守る (33.6)	高齢者の福祉を充実する (30.0)	食品の安全を守る (25.8)	医療サービス体制を整備する (22.1)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (15.7)
東地域		239	高齢者の福祉を充実する (29.3)	食品の安全を守る (28.9)	災害から県民を守る (23.0)	医療サービス体制を整備する (22.6)	便利な交通網を整備する (16.3)
南地域		111	高齢者の福祉を充実する (36.0)	災害から県民を守る (33.3)	食品の安全を守る／医療サービス体制を整備する (23.4)	医療サービス体制を整備する (23.4)	雇用の場を広げる (18.9)
西地域		579	災害から県民を守る (34.4)	高齢者の福祉を充実する (32.5)	食品の安全を守る (23.8)	医療サービス体制を整備する (22.1)	犯罪防止対策をすすめる (14.3)
【性・年齢別】							
男 性 (計)		682	災害から県民を守る (33.4)	高齢者の福祉を充実する (31.5)	食品の安全を守る (21.4)	医療サービス体制を整備する (21.0)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる (13.9)
20 代		64	災害から県民を守る (29.7)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる／犯罪防止対策をすすめる (18.8)	騒音などの環境対策をすすめる (18.8)	便利な交通網を整備する／高齢者の福祉を充実する／次世代を担う子どもの育成支援を充実する (15.6)	
30 代		121	災害から県民を守る (31.4)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (19.8)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる (17.4)	食品の安全を守る／自然を守り、緑を育てる (16.5)	
40 代		96	災害から県民を守る (36.5)	医療サービス体制を整備する (25.0)	自然を守り、緑を育てる (20.8)	便利な交通網を整備する／高齢者の福祉を充実する／大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる (18.8)	
50 代		131	災害から県民を守る (35.9)	高齢者の福祉を充実する (28.2)	食品の安全を守る／医療サービス体制を整備する (24.4)	医療サービス体制を整備する (24.4)	雇用の場を広げる (16.8)
60歳以上		269	高齢者の福祉を充実する (48.7)	災害から県民を守る (32.7)	食品の安全を守る (27.1)	医療サービス体制を整備する (22.3)	健康づくりをすすめて、病気を予防する (11.9)
女 性 (計)		743	高齢者の福祉を充実する (31.0)	災害から県民を守る (30.6)	食品の安全を守る (28.7)	医療サービス体制を整備する (23.8)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (16.0)
20 代		71	災害から県民を守る (33.8)	自然を守り、緑を育てる (19.7)	食品の安全を守る／医療サービス体制を整備する／大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる (18.3)	医療サービス体制を整備する (20.7)	犯罪防止対策をすすめる (20.0)
30 代		145	仕事と子育てが両立する働き方を実現する (33.1)	災害から県民を守る／次世代を担う子どもの育成支援を充実する (25.5)	医療サービス体制を整備する (20.7)	食品の安全を守る (22.7)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (18.0)
40 代		128	災害から県民を守る (32.0)	高齢者の福祉を充実する (30.5)	医療サービス体制を整備する (24.2)	食品の安全を守る (22.7)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (18.0)
50 代		144	食品の安全を守る (36.8)	医療サービス体制を整備する (29.9)	高齢者の福祉を充実する (28.5)	災害から県民を守る (27.1)	雇用の場を広げる (14.6)
60歳以上		254	高齢者の福祉を充実する (43.7)	食品の安全を守る (37.0)	災害から県民を守る (33.9)	医療サービス体制を整備する (23.6)	健康づくりをすすめて、病気を予防する (16.1)

<図表8-4> 県政への要望（上位6位～10位）／地域別、性別、性・年代別

(%)

属性	順位	n	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
全 体		1,466	犯罪防止対策をすすめる (12.6)	自然を守り、緑を育てる (12.1)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる (11.9)	便利な交通網を整備する (11.4)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する (8.9)
【地域別】							
中央地域		503	犯罪防止対策をすすめる (13.1)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する (11.3)	便利な交通網を整備する (11.1)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる (10.9)	自然を守り、緑を育てる (10.5)
東地域		239	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (14.6)	自然を守り、緑を育てる (14.2)	犯罪防止対策をすすめる (10.9)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる (10.5)	健康づくりをすすめて、病気を予防する (9.6)
南地域		111	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (18.0)	便利な交通網を整備する／学校教育を充実する (11.7)	農林水産業を振興し新鮮な農水産物を供給する (9.9)	交通事故から県民を守る／大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる (9.0)	
西地域		579	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる (14.2)	自然を守り、緑を育てる (13.8)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (13.6)	道路を整備する (9.5)	便利な交通網を整備する (9.2)
【性・年齢別】							
男性(計)		682	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (13.8)	犯罪防止対策をすすめる (12.9)	自然を守り、緑を育てる (12.6)	便利な交通網を整備する (12.5)	交通事故から県民を守る (8.9)
20代		64	---	医療サービス体制を整備する／学校教育を充実する (14.1)	交通事故から県民を守る／自然を守り、緑を育てる (12.5)		
30代		121	高齢者の福祉を充実する (15.7)	犯罪防止対策をすすめる (15.7)	便利な交通網を整備する／医療サービス体制を整備する (14.9)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する (14.0)	
40代		96	---	食品の安全を守る (17.7)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (16.7)	犯罪防止対策をすすめる (13.5)	道路を整備する (10.4)
50代		131	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる／犯罪防止対策をすすめる (11.5)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する／省資源やリサイクルをすすめる (9.9)	便利な交通網を整備する (9.2)		
60歳以上		269	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (11.5)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる／犯罪防止対策をすすめる (10.4)	便利な交通網を整備する／自然を守り、緑を育てる (10.0)		
女性(計)		743	仕事と子育てが両立する働き方を実現する (12.7)	犯罪防止対策をすすめる (12.5)	自然を守り、緑を育てる (12.1)	便利な交通網を整備する／大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる (10.2)	
20代		71	仕事と子育てが両立する働き方を実現する／犯罪防止対策をすすめる (16.9)	高齢者の福祉を充実する (15.5)	便利な交通網を整備する／省資源やリサイクルをすすめる (14.1)		
30代		145	高齢者の福祉を充実する (19.3)	食品の安全を守る (16.6)	学校教育を充実する (13.8)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる (13.1)	省資源やリサイクルをすすめる (11.0)
40代		128	学校教育を充実する (16.4)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる／自然を守り、緑を育てる (13.3)	犯罪防止対策をすすめる (12.5)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する (11.7)	
50代		144	次世代を担う子どもの育成支援を充実する／自然を守り、緑を育てる (11.8)	便利な交通網を整備する (10.4)	青少年を健全に育てる／健康づくりをすすめて、病気を予防する (9.7)		
60歳以上		254	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (13.8)	自然を守り、緑を育てる (11.4)	安心して飲める良質な水道水を供給する (10.2)	便利な交通網を整備する／犯罪防止対策をすすめる (9.4)	

## (1-1) 各政策への具体的な要望

問39 問38で選んでいただきました県政の要望について、具体的にどのようなことを望まれますか。問38で選んだ3項目についてのみ、具体的要望項目から1つずつ選んで番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

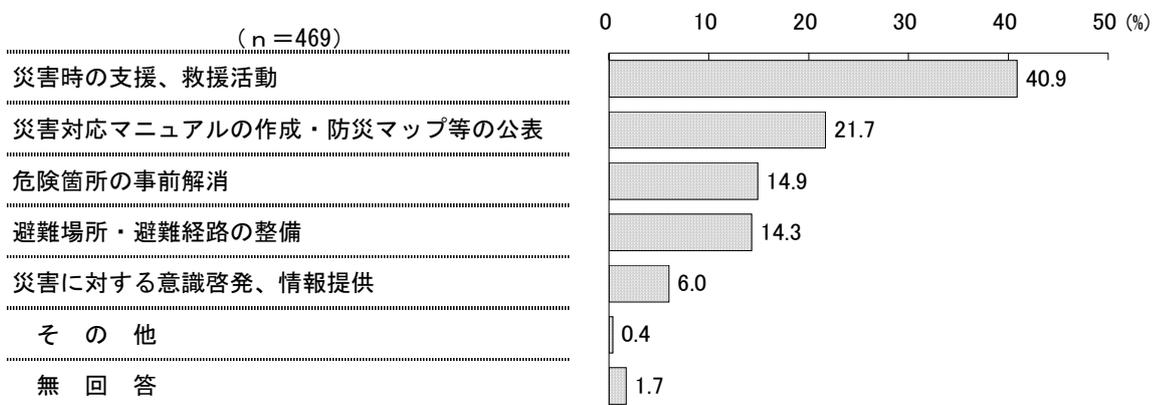
問38で県政への要望を3つまでたずね、その選んだ要望に関して、それぞれ具体的にどのようなことを望んでいるかを聞いた。

ここからは、それぞれの結果を図示していくが、問38の回答状況次第では、nの値が少なくなるものもあり、その場合は参考ということを示す。

### 1 災害から県民を守る

「災害時の支援、救援活動」(40.9%)が4割で最も高く、「災害対応マニュアルの作成・防災マップ等の公表」(21.7%)と「危険箇所の事前解消」(14.9%)が続く。(図表8-5)

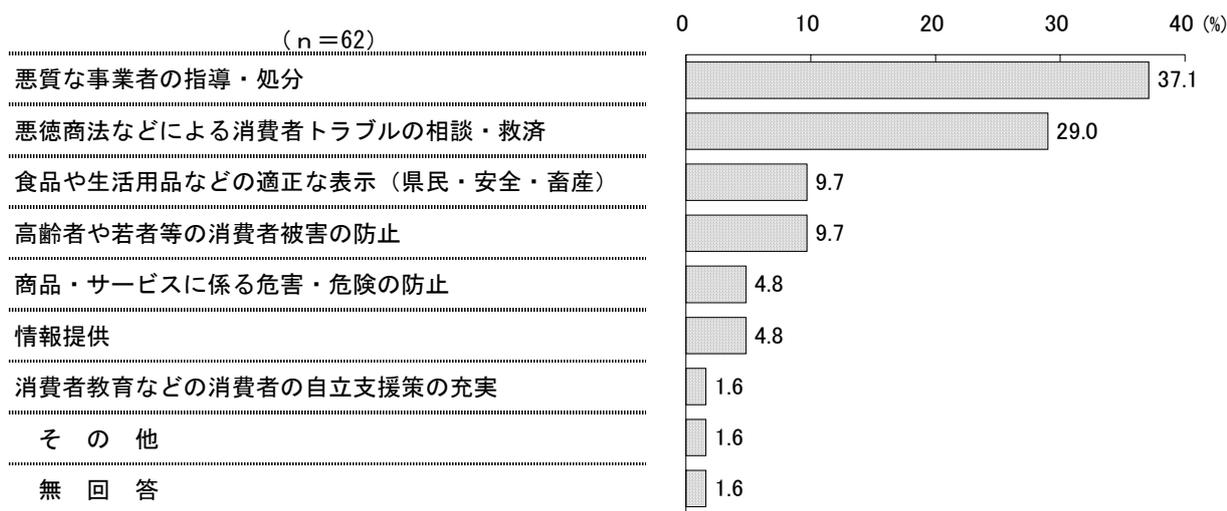
<図表8-5> 災害から県民を守る



## 2 消費生活のトラブルに関する対策をすすめる

「悪質な事業者の指導・処分」(37.1%)が3割台半ばを超え、「悪徳商法などによる消費者トラブルの相談・救済」(29.0%)でこれら上位2項目が突出している。(図表8-6)

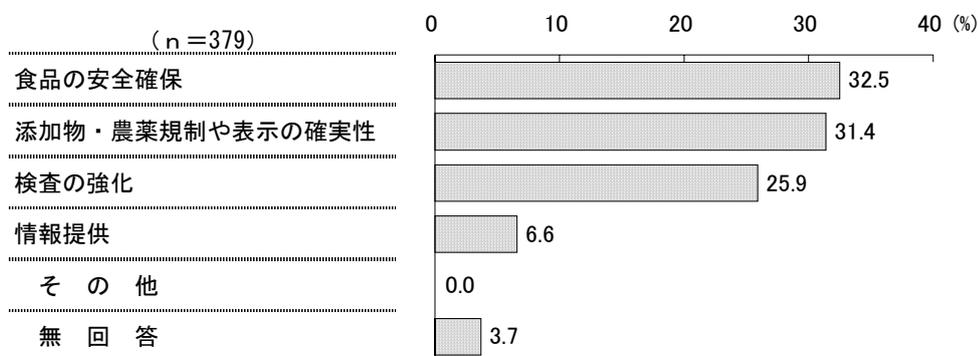
＜図表8-6＞消費生活のトラブルに関する対策をすすめる



## 3 食品の安全を守る

「食品の安全確保」(32.5%)、「添加物・農薬規制や表示の確実性」(31.4%)が3割を超え、次いで「検査の強化」(25.9%)これら上位3項目が突出している。(図表8-7)

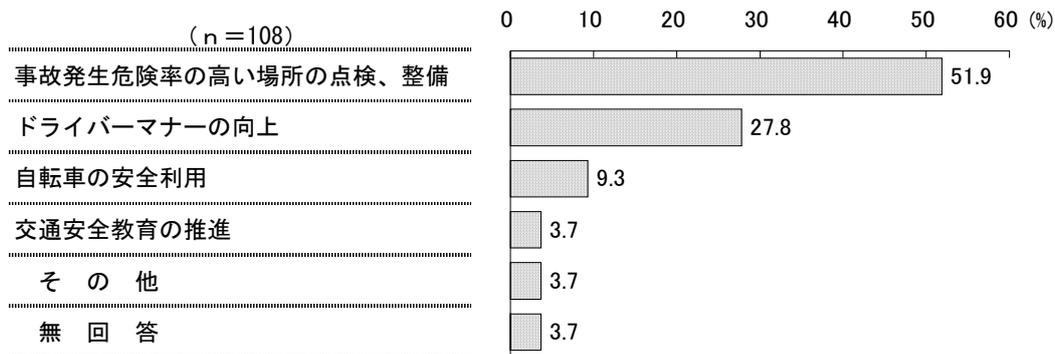
＜図表8-7＞食品の安全を守る



#### 4 交通事故から県民を守る

「事故発生危険率の高い場所の点検、整備」(51.9%)と「ドライバーマナーの向上」(27.8%)が突出している。(図表8-8)

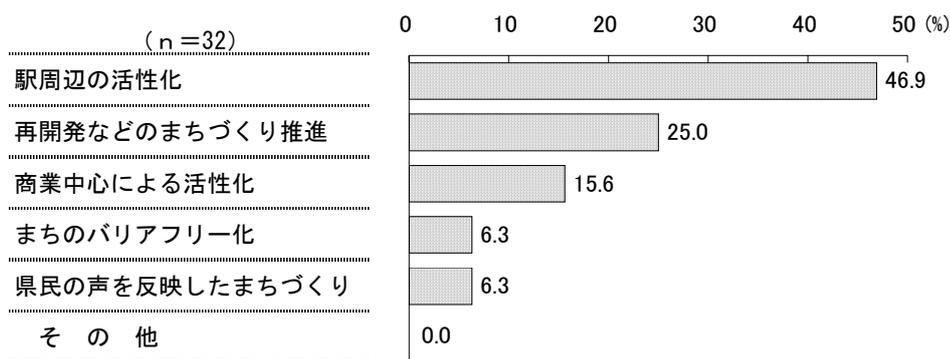
＜図表8-8＞交通事故から県民を守る



#### 5 中心市街地の活性化を推進する

「駅周辺の活性化」(46.9%)が4割台半ばで最も高く、次いで、「再開発などのまちづくり推進」(25.0%)と続く。(図表8-9)

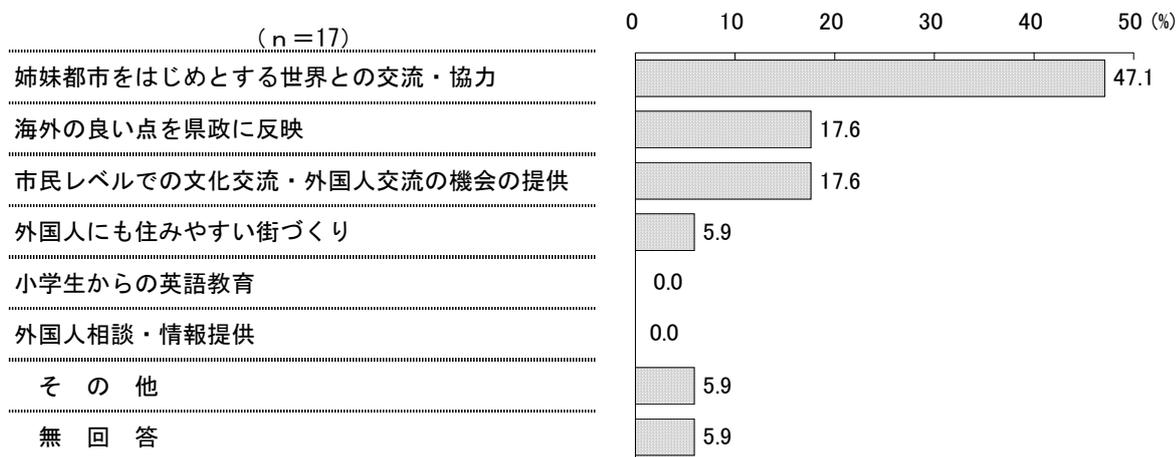
＜図表8-9＞中心市街地の活性化を推進する



## 6 国際交流や国際協力をすすめる

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。(図表8-10)

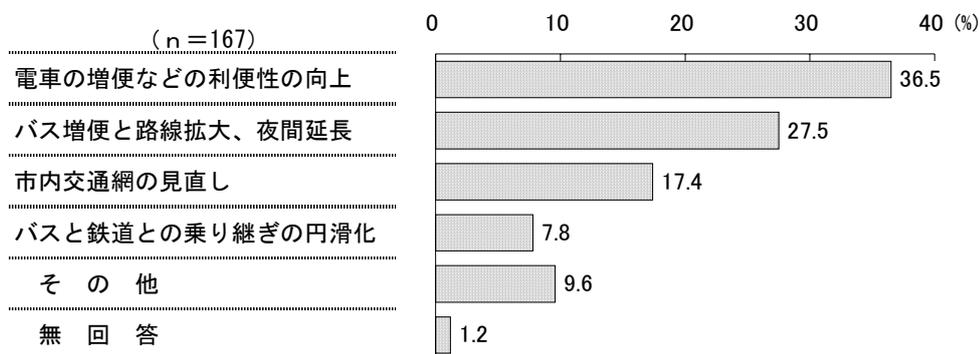
<図表8-10> 国際交流や国際協力をすすめる



## 7 便利な交通網を整備する

「電車の増便などの利便性の向上」(36.5%)が3割台半ばで最も高く、次いで、「バス増便と路線拡大、夜間延長」(27.5%)、「市内交通網の見直し」(17.4%)となっている。(図表8-11)

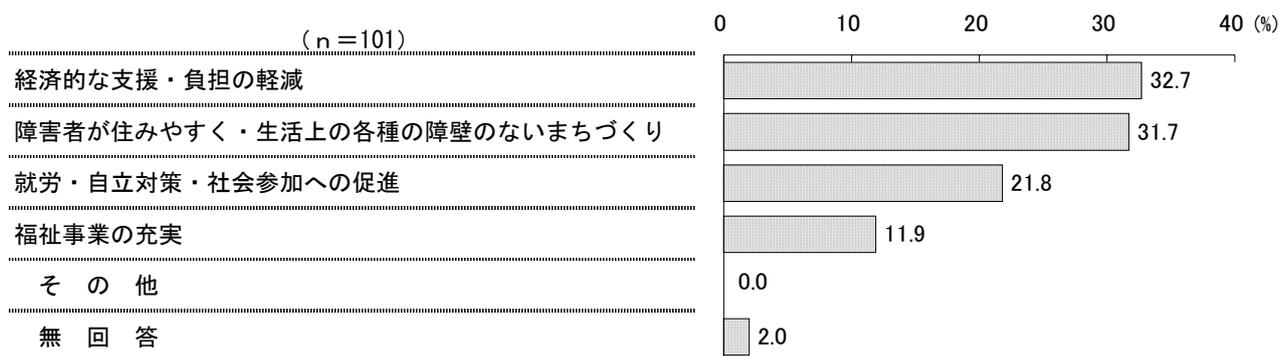
<図表8-11> 便利な交通網を整備する



## 8 障害者の福祉や社会参加の支援を充実する

「経済的な支援・負担の軽減」(32.7%)が最も高く、「障害者が住みやすく・生活上の各種の障壁のないまちづくり」(31.7%)が僅差で続く。「就労・自立対策・社会参加への促進」(21.8%)が2割台、「福祉事業の充実」(11.9%)が1割台となっている。(図表8-12)

＜図表8-12＞障害者の福祉や社会参加の支援を充実する

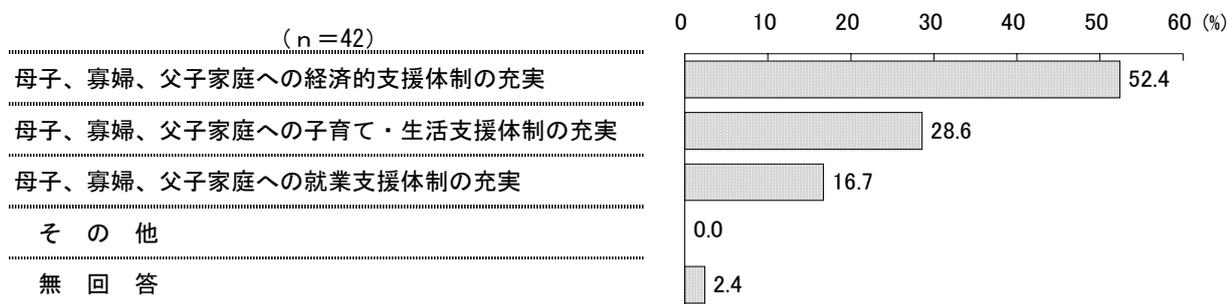


## 9 母子、寡婦、父子家庭等の福祉や社会参加の支援を充実する

「母子、寡婦、父子家庭への経済的支援体制の充実」(52.4%)が5割を超え最も高くなっている。次いで、「母子、寡婦、父子家庭への子育て・生活支援体制の充実」(28.6%)は約3割である。

(図表8-13)

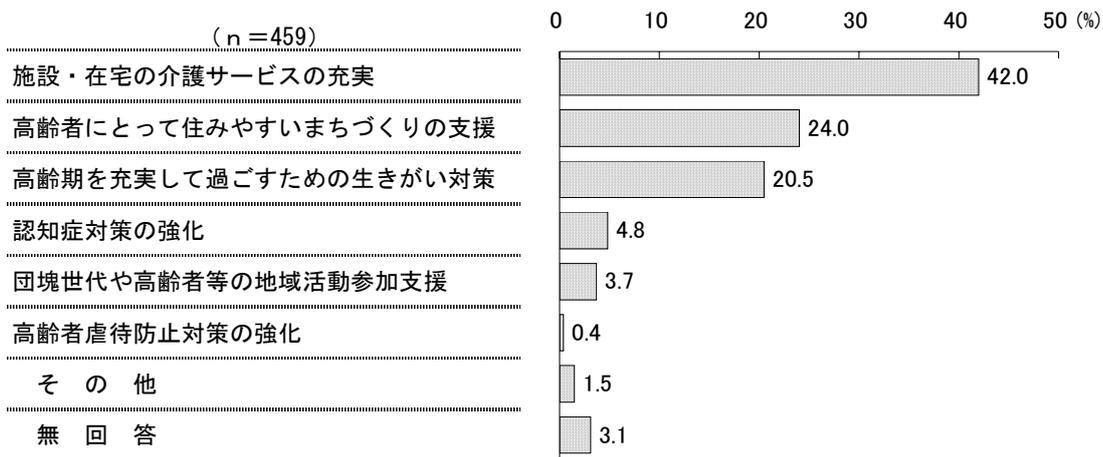
＜図表8-13＞母子、寡婦、父子家庭等の福祉や社会参加の支援を充実する



## 10 高齢者の福祉を充実する

「施設・在宅の介護サービスの充実」(42.0%)が4割を超え最も高く、次いで、「高齢者にとって住みやすいまちづくりの支援」(24.0%)が2割台半ばとなっている。(図表8-14)

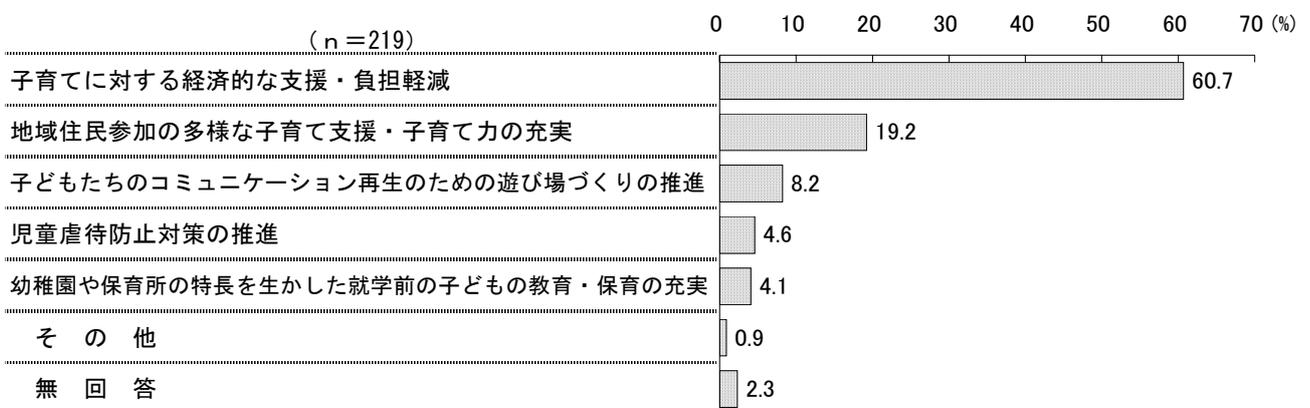
＜図表8-14＞高齢者の福祉を充実する



## 11 次世代を担う子どもの育成支援を充実する

「子育てに対する経済的な支援・負担軽減」(60.7%)が6割で最も高くなっている。次いで、「地域住民参加の多様な子育て支援・子育て力の充実」(19.2%)が約2割となっている。(図表8-15)

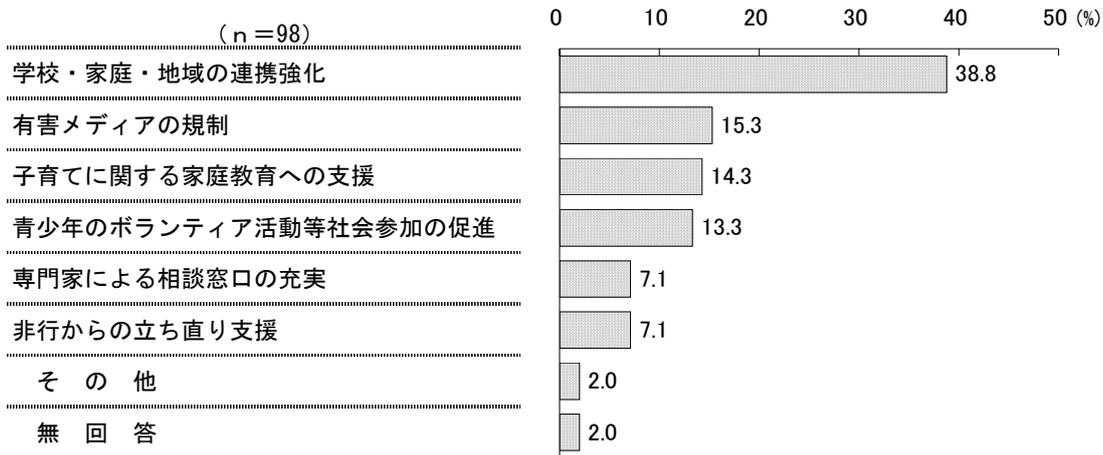
＜図表8-15＞次世代を担う子どもの育成支援を充実する



## 12 青少年を健全に育てる

「学校・家庭・地域の連携強化」(38.8%)が約4割で突出している。(図表8-16)

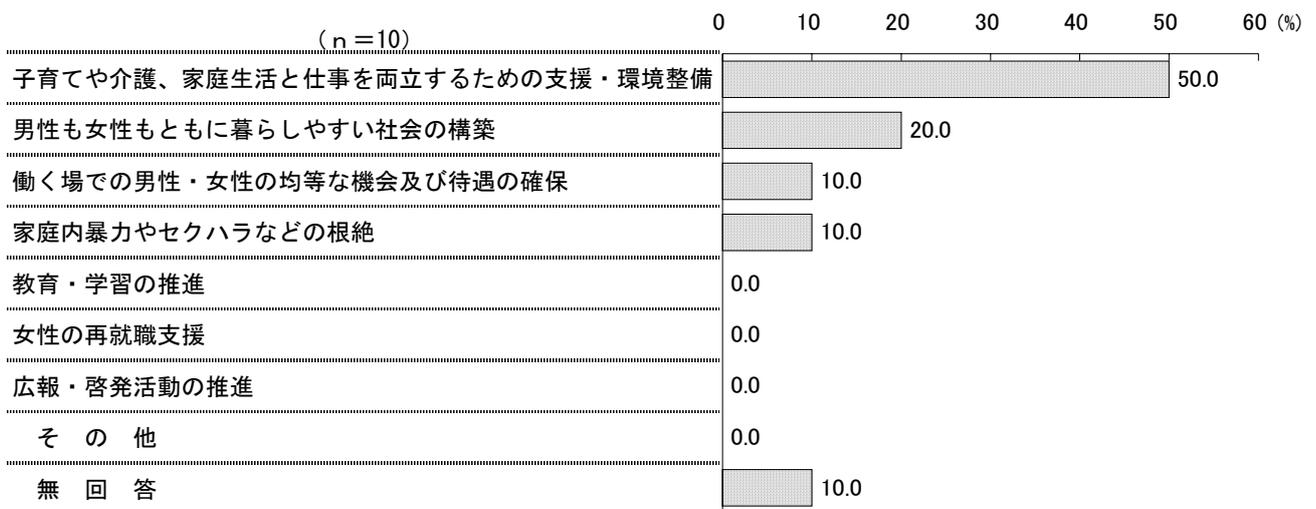
<図表8-16> 青少年を健全に育てる



## 13 男女共同参画を推進する

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。(図表8-17)

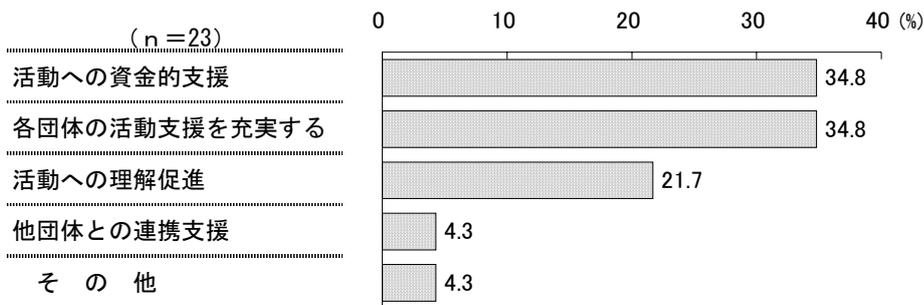
<図表8-17> 男女共同参画を推進する



#### 14 NPOやボランティアへの活動支援を充実する

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。(図表8-18)

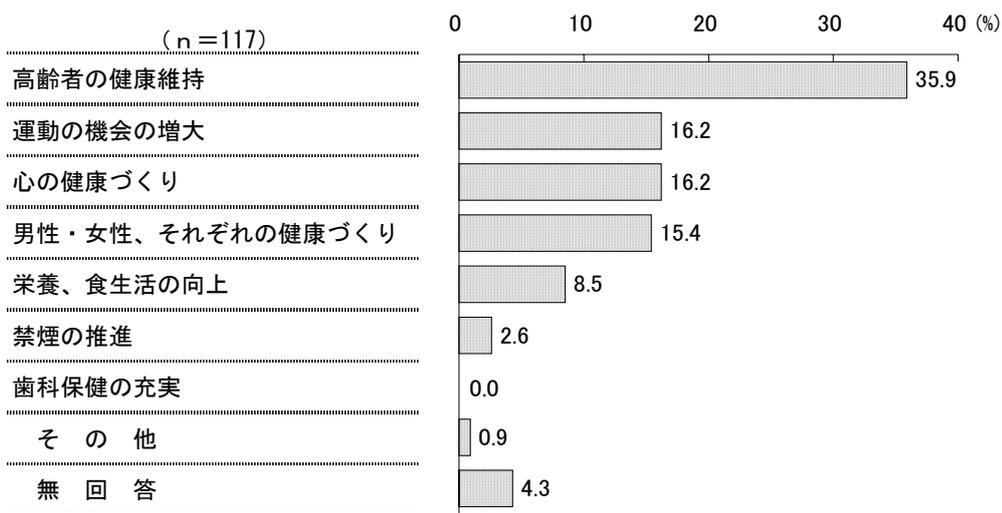
＜図表8-18＞NPOやボランティアへの活動支援を充実する



#### 15 健康づくりをすすめて、病気を予防する

「高齢者の健康維持」(35.9%)が3割台半ばで最も高い。次いで、「運動の機会の増大」、「心の健康づくり」がともに16.2%で続く。(図表8-19)

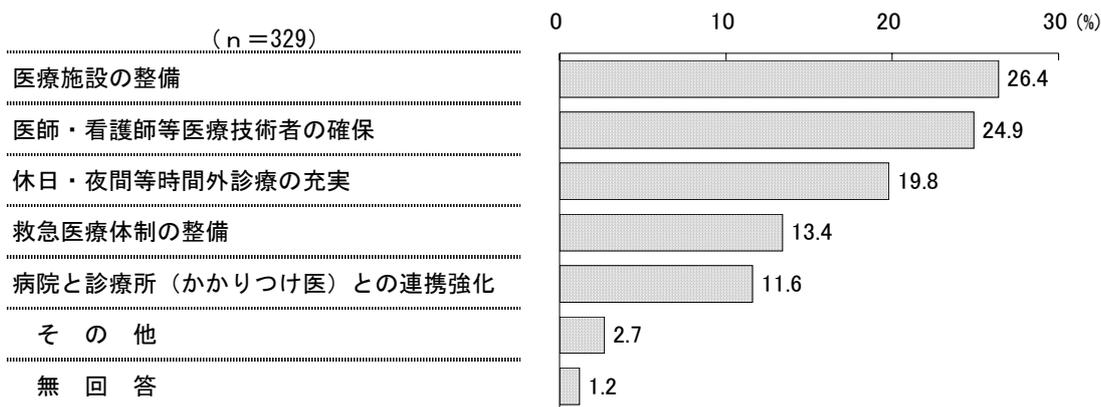
＜図表8-19＞健康づくりをすすめて、病気を予防する



## 16 医療サービス体制を整備する

「医療施設の整備」(26.4%)が2割台半ばで最も高く、次いで、「医師・看護師等医療技術者の確保」(24.9%)、「休日・夜間等時間外診療の充実」(19.8%)と続く。(図表8-20)

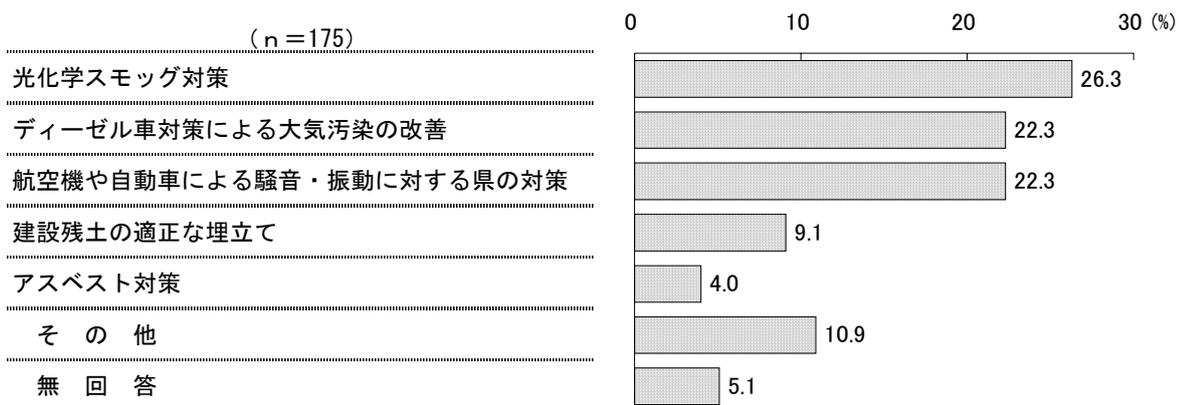
＜図表8-20＞医療サービス体制を整備する



## 17 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる

「光化学スモッグ対策」(26.3%)が2割台半ばで、「ディーゼル車対策による大気汚染の改善」、「航空機や自動車による騒音・振動に対する県の対策」がともに22.3%で続く。(図表8-21)

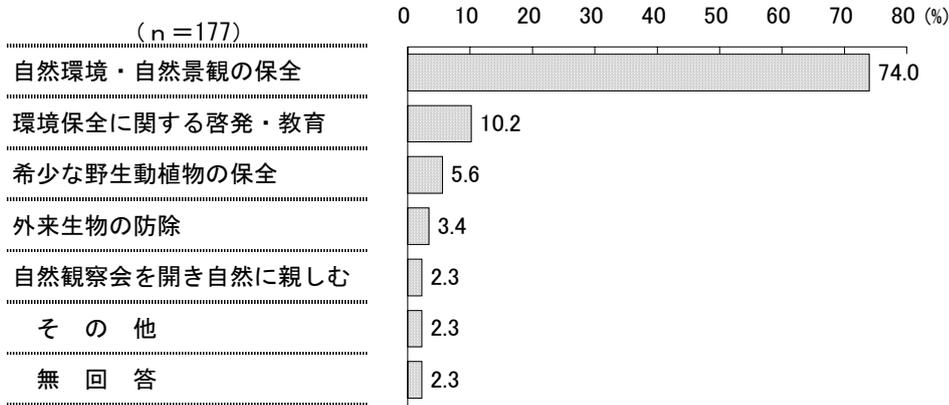
＜図表8-21＞大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる



## 18 自然を守り、緑を育てる

「自然環境・自然景観の保全」(74.0%)が7割台半ばと最も高くなっている。(図表8-22)

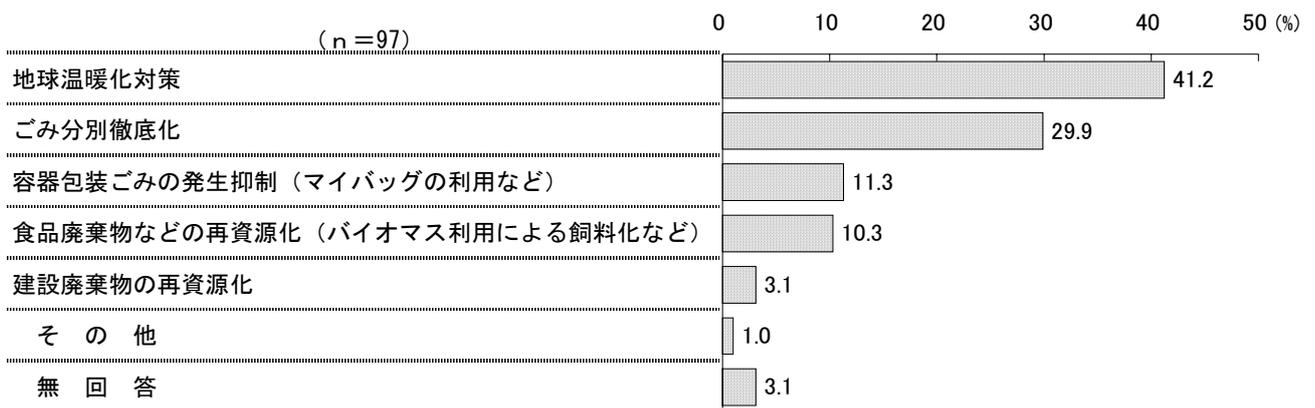
<図表8-22>自然を守り、緑を育てる



## 19 省資源やリサイクルをすすめる

「地球温暖化対策」(41.2%)が4割を超え、「ごみ分別徹底化」(29.9%)が続く。(図表8-23)

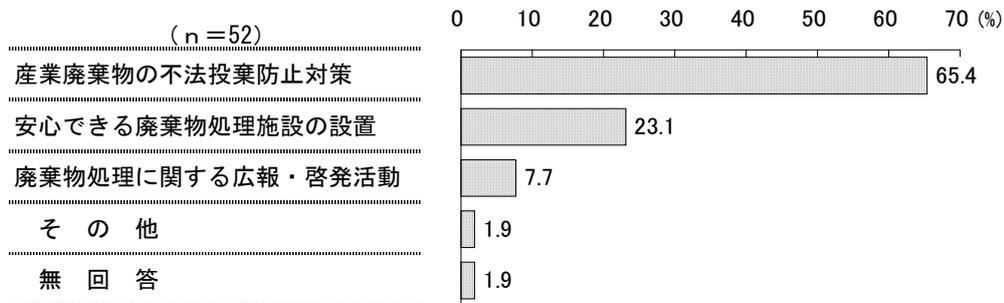
<図表8-23>省資源やリサイクルをすすめる



## 20 廃棄物対策をすすめる

「産業廃棄物の不法投棄防止対策」(65.4%)が6割台半ばで最も高い。(図表8-24)

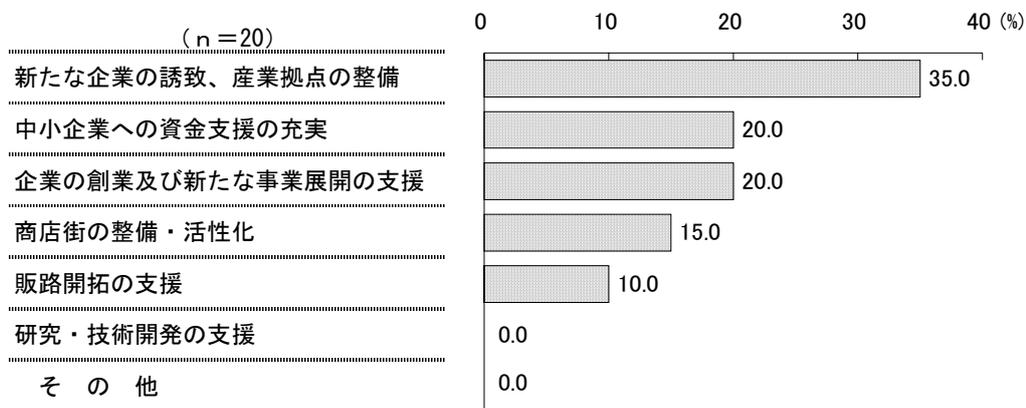
〈図表8-24〉廃棄物対策をすすめる



## 21 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。(図表8-25)

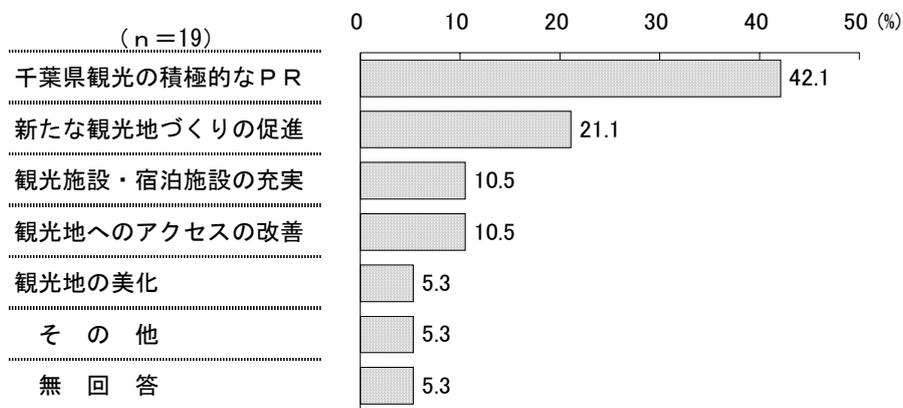
〈図表8-25〉商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する



## 22 観光を振興する

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。(図表8-26)

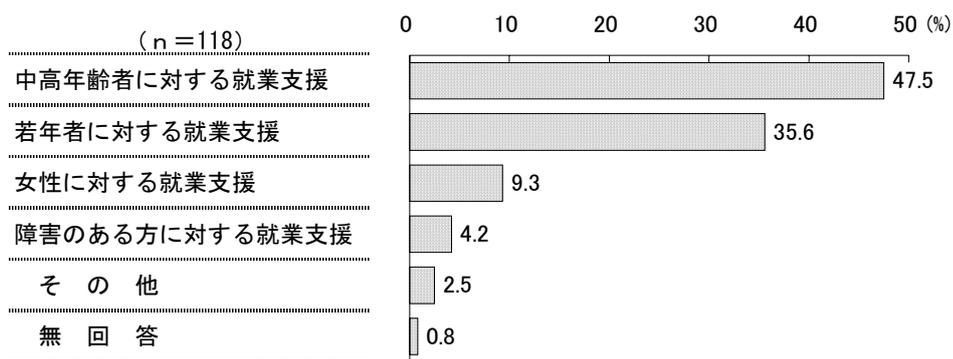
<図表8-26>観光を振興する



## 23 雇用の場を広げる

「中高年齢者に対する就業支援」(47.5%)が約5割で最も高くなっている。次いで、「若年者に対する就業支援」(35.6%)が3割台半ばである。(図表8-27)

<図表8-27>雇用の場を広げる

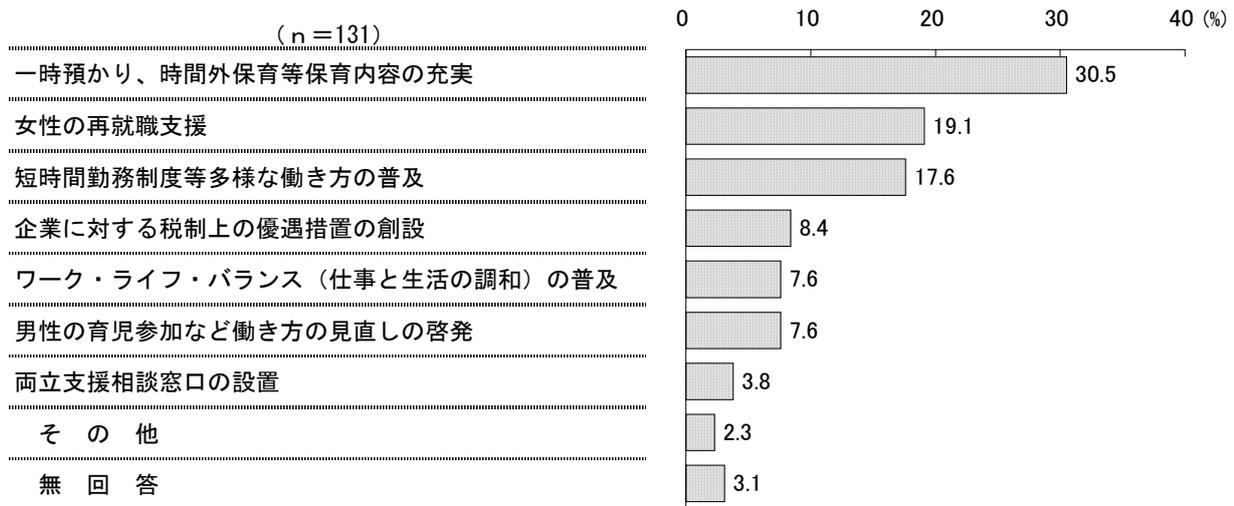


## 24 仕事と子育てが両立する働き方を実現する

「一時預かり、時間外保育等保育内容の充実」(30.5%)が3割で最も高く、次いで、「女性の再就職支援」(19.1%)、「短時間勤務制度等多様な働き方の普及」(17.6%)が約2割である。

(図表8-28)

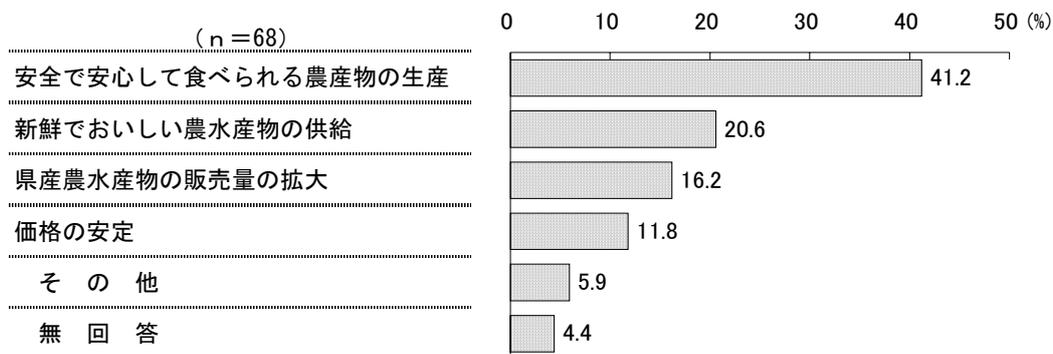
<図表8-28>仕事と子育てが両立する働き方を実現する



## 25 農林水産業を振興し新鮮な農水産物を供給する

「安全で安心して食べられる農産物の生産」(41.2%)が4割を超え最も高く、次いで、「新鮮でおいしい農水産物の供給」(20.6%)が2割、「県産農水産物の販売量の拡大」(16.2%)が1割台半ばとなっている。(図表8-29)

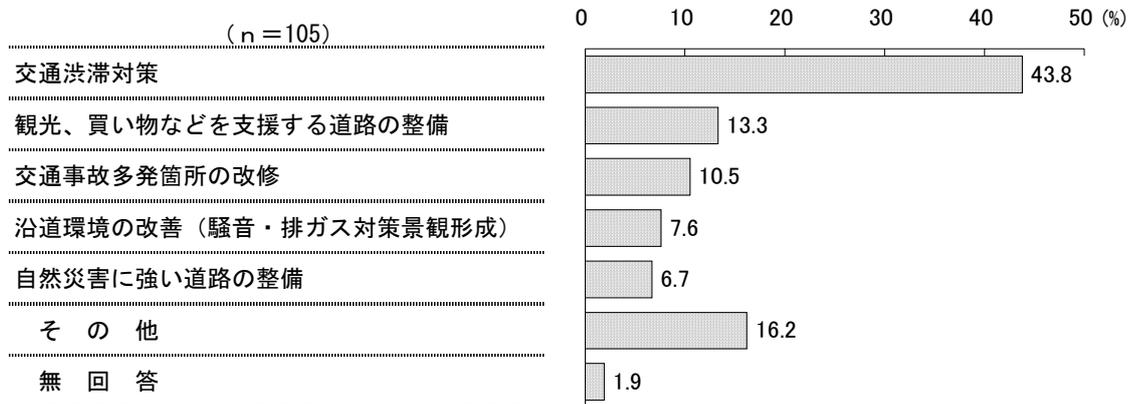
<図表8-29>農林水産業を振興し新鮮な農水産物を供給する



## 26 道路を整備する

「交通渋滞対策」(43.8%)が4割台半ばで最も高い。(図表8-30)

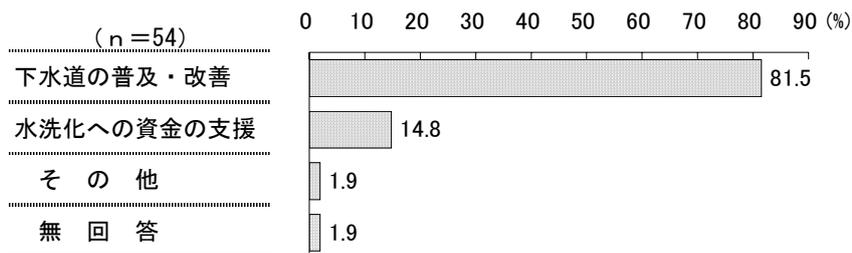
<図表8-30>道路を整備する



## 27 下水道を整備する

「下水道の普及・改善」(81.5%)が8割を超え最も高い。(図表8-31)

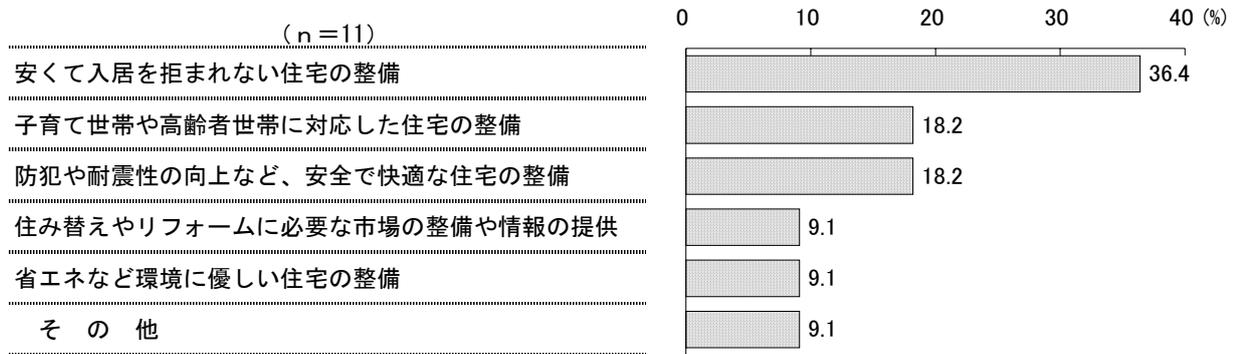
<図表8-31>下水道を整備する



## 28 住宅対策を充実する

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。(図表8-32)

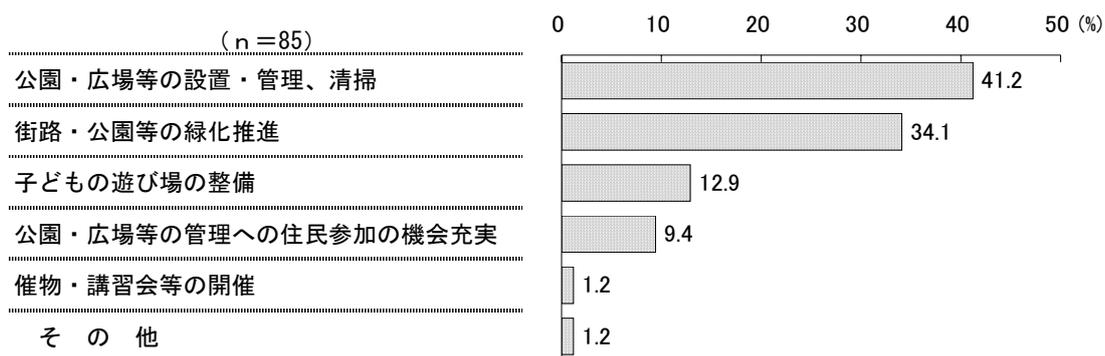
<図表8-32>住宅対策を充実する



## 29 公園・緑地・水辺を整備する

「公園・広場等の設置・管理、清掃」(41.2%)が4割を超え最も高い、「街路・公園等の緑化推進」(34.1%)が3割台半ば、「子どもの遊び場の整備」(12.9%)が1割台となっている。(図表8-33)

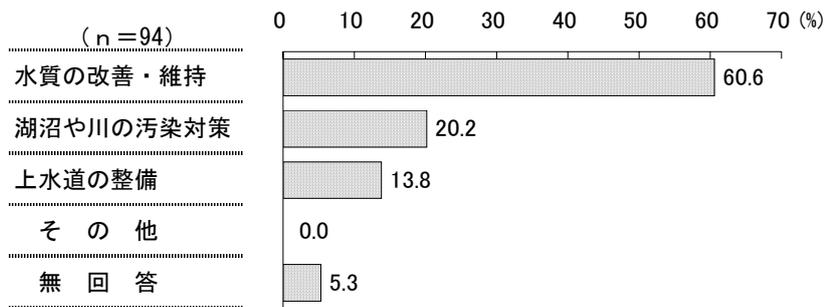
<図表8-33>公園・緑地・水辺を整備する



### 30 安心して飲める良質な水道水を供給する

「水質の改善・維持」(60.6%)が6割で最も高く、次いで、「湖沼や川の汚染対策」(20.2%)が2割となっている。(図表8-34)

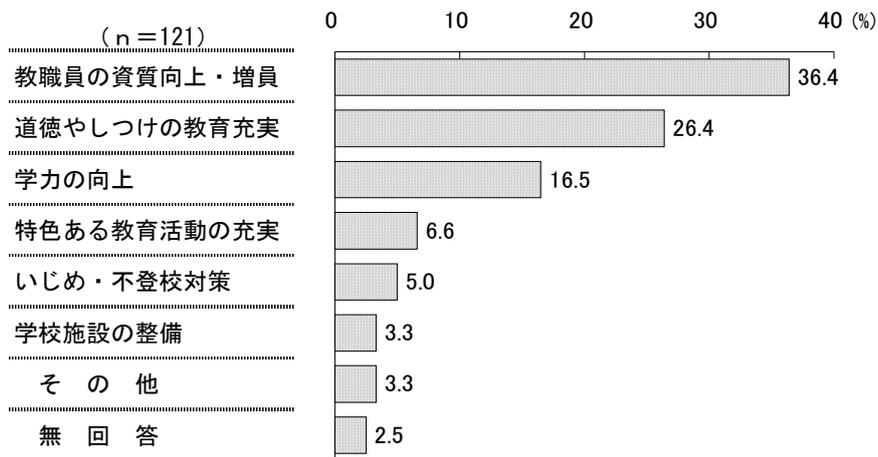
<図表8-34>安心して飲める良質な水道水を供給する



### 31 学校教育を充実する

「教職員の資質向上・増員」(36.4%)が3割台半ばで最も高く、次いで、「道徳やしつけの教育充実」(26.4%)が2割台半ばとなっている。(図表8-35)

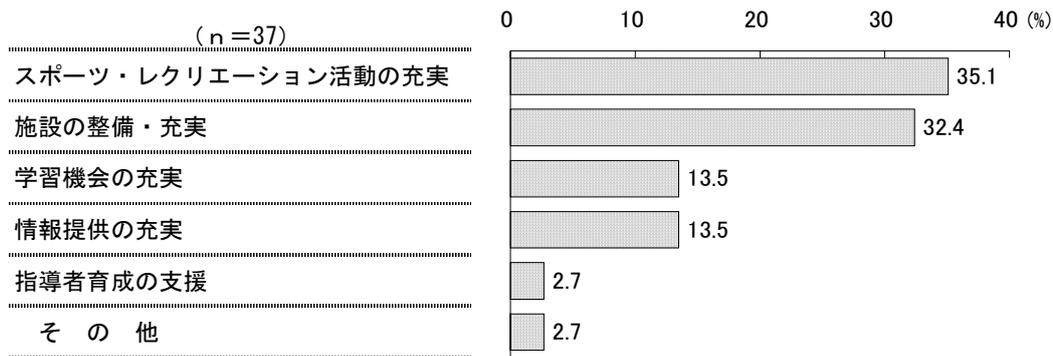
<図表8-35>学校教育を充実する



### 32 生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する

「スポーツ・レクリエーション活動の充実」(35.1%)が3割台半ば、「施設の整備・充実」(32.4%)が3割台、次いで、「学習機会の充実」と「情報提供の充実」が13.5%で続く。(図表8-36)

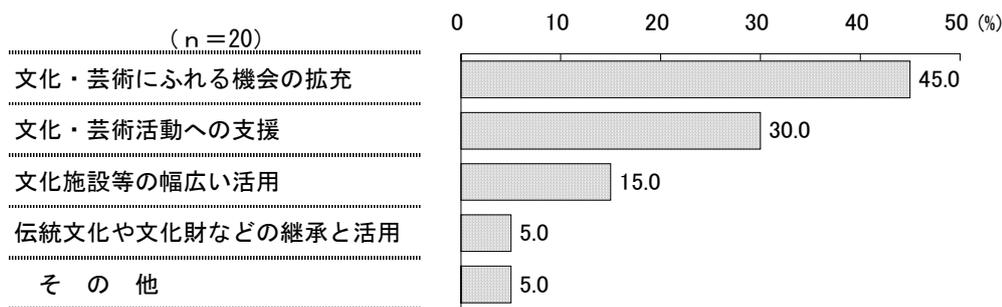
<図表8-36>生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する



### 33 芸術・文化活動を振興する

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。(図表8-37)

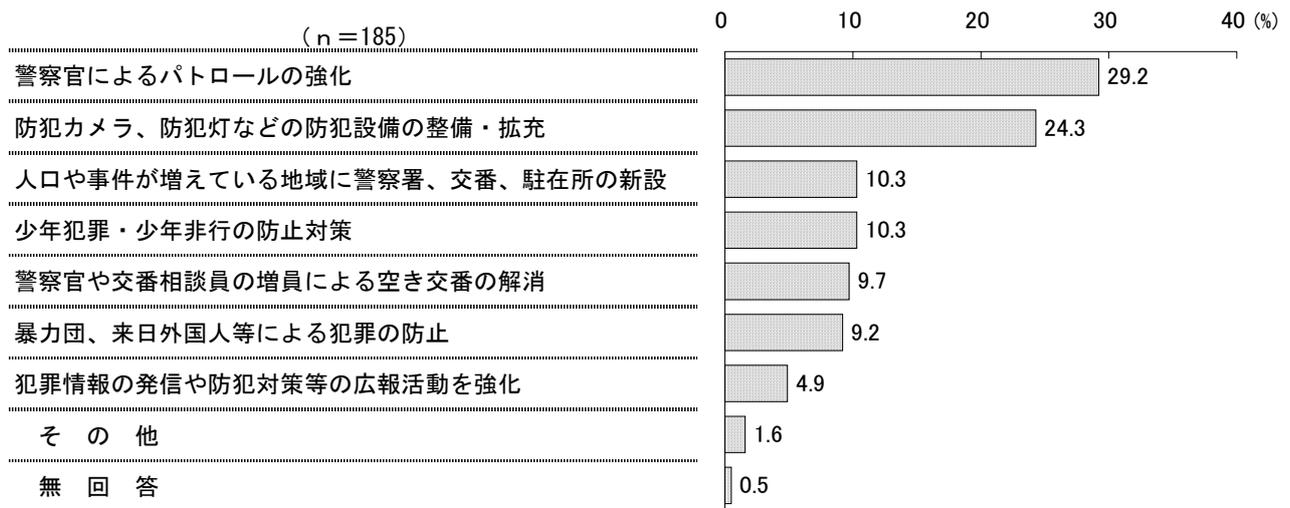
<図表8-37>芸術・文化活動を振興する



### 34 犯罪防止対策をすすめる

「警察官によるパトロールの強化」(29.2%)が約3割と最も高くなっている。次いで、「防犯カメラ、防犯灯などの防犯設備の整備・拡充」(24.3%)が2割台半ばで、「人口や事件が増えている地域に警察署、交番、駐在所の新設」(10.3%)が1割となっている。(図表8-38)

＜図表8-38＞犯罪防止対策をすすめる



### 35 IT（情報通信技術）を生かした社会づくりをすすめる

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。(図表8-39)

＜図表8-39＞IT（情報通信技術）を生かした社会づくりをすすめる

